

平成29年度第1回木更津市郷土博物館金のすず協議会会議録

- 1 日 時 平成29年5月16日(火) 午後1時30分～3時00分
- 2 場 所 木更津市郷土博物館金のすず 多目的室
- 3 出席委員 委員長 中村哲
委 員 荻野啓次・高橋めぐみ・圓谷加陽子・廣部昌弘
(藤浪弘美委員欠席)
- 4 出席職員 高澤茂夫教育長、山口玲子教育部参事兼文化課長、
石井館長、稲葉副館長、松本副主幹、井上副主幹、
丸山主任主事、多田主事
- 5 傍聴人数 0名
- 6 委嘱状交付 廣部昌弘委員
- 7 議 事
 - (1) 議題1 平成28年度下半期事業報告について(公開)
 - (2) 議題2 平成29年度事業計画(案)について(公開)
 - (3) 議題3 図書館協議会委員の候補者推薦について(公開)
 - (4) その他 国宝化推進事業について(文化課)

8 議事内容

事務局(松本):ただいまより、平成29年度第1回「木更津市郷土博物館金のすず協議会」を開催いたします。

今回、3月31日付で積田委員が退任いたしましたので、新たに委員として、木更津第一中学校校長の廣部昌弘氏に委員を御願ひすることになりました。

これより委嘱状の交付を行ないますので自席でご起立ください。

—教育長から委嘱状交付、介添石井館長—

教育長:委嘱状。廣部昌弘様。木更津市郷土博物館金のすず協議会委員に委嘱します。期間は平成29年5月16日から平成30年10月31日までとします。平成29年5月16日木更津市教育委員会。

事務局(松本):廣部委員より自己紹介をお願い致します。

廣部委員:本年4月より木更津第一中学校校長として勤務しております。今年度より、お世話になります。よろしく願いいたします。

事務局(松本):本日は、藤浪委員がご欠席でございますが、6名中5名のご出席をいただいておりますので、「木更津市郷土博物館金のすず協議会運営規則第8条」により会議は成立しております。

また、「木更津市審議会等の会議公開に関する条例第3条」に基づき、本会議は一般公開となっておりますが、傍聴人は0人です。

それでは会議開催にあたり、木更津市郷土博物館金のすす協議会の
中村委員長に、ご挨拶をお願いいたします。

中村委員長：本日はご苦労様です。今年度で博物館 10 年目ということで、今後は問題も出てくるでしょうし、博物館の真価、評価が問われる時期になると思われます。金鈴塚共同研究についても進んでいるとのこと
でうれしく思っております。オリンピックの頃の申請と聞いておりますが、こういうお祝い事の年は、今までの懸案事項が、ご祝儀ということで結構審査が通りやすくなるのでは？と期待しております。磐洲干潟の天然記念物指定もあわせて、指定について動いて欲しい。調査は県立中央博物館にお願いすればうまくいくのではないのでしょうか。是非忙しいとは思いますが、この機会に積極的な働きかけをお願いしたいと思っております。館長はじめ職員の皆様方には大変期待しております。これからが大変でしょうが、本日はよろしくお願い申し上げます。

事務局（松本）：続きまして、高澤教育長よりご挨拶申し上げます。

教育長：ただいま、ご紹介いただきました、教育長の 高澤でございます。本年度もよろしくお願い申し上げます。

本日は、大変お忙しい中を平成 29 年度第一回木更津市郷土博物館金のすす協議会にご出席いただきまして、誠に有難うございます。

また、皆様には日頃より学校教育、社会教育の推進につきまして、ご理解とご支援 ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

先程、委嘱状交付をさせていただきました、廣部委員には前任者の残任期間であります、平成 30 年 10 月 31 日までの 1 年間でありますが、よろしくお願いいいたします。

また、中村委員をはじめ委員の皆様には引き続きこの間、博物館の運営等につきましてご意見、ご指導を賜りたいと存じます。よろしくお願ひ申し上げます。

さきほど中村委員長からおはなしがあったとおり、この郷土博物館金のすすは、この 10 月で開館 10 年目に入ります。

この間、博物館では郷土の魅力、文化財の素晴らしさを、多くの方に実感していただきたく事業を展開してまいりました。

とりわけ、平成 22 年度から、国立歴史民俗博物館との共同研究を実施しておりますが、「金鈴塚古墳共同研究事業」につきましては、お手元にお配りしましたように昨年 11 月 26 日、第 103 回歴博フォーラム「金鈴塚古墳のかがやき」を、佐倉市の国立歴史民俗博物館講堂で開催しました。

現在 文化課を窓口「金鈴塚古墳出土品」の国宝化推進事業を新規に設けました。博物館では、より市民に金鈴塚古墳の内容をあらためてよく知っていただくための周知活動を積極的に進める計画です。

そのために多くの研究者の方々と情報の共有化を図るなかで、研究報告書の刊行の準備を行なっております。

これらの事業を通じて、金鈴塚古墳について現在の学術的視点からの再評価を進めて行きたいと存じます。

なかなか、ハードルは高いながらも学術的な再評価を図りたいと考えておりますので、みなさまのご協力をお願いいたします。

また、今年度の特別展示は、「木更津の中世」として、真里谷武田氏をテーマに10月14日からの開催にむけて準備中でございます。皆様にはお時間を見つけていただいて、是非ご高覧いただけますようお願い申し上げます。

本日は、「平成28年度下半期事業報告について」など3件を、議題とさせていただきます。

また、その他として、国宝化推進事業についてご説明させて頂く予定となっております。

どうか十分ご審議賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、委員の皆様には本委員会へのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

事務局（松本）：それでは、続きまして、職員をご紹介します。文化課の山口課長です。

文化課長：山口でございます。よろしく申し上げます。

事務局（松本）：続きまして、博物館職員を紹介します。今年度は異動がございました。館長から自己紹介で申し上げます。

（館長以下自己紹介）

事務局（松本）：それでは、総会次第によりまして議事に入らせていただきますが、ここで、高澤教育長につきましては公務多忙のため、また事務局職員についても担当業務繁忙のため退席させていただきます。

それでは、運営規則により中村委員長に議長をお願いいたします。

委員長：それでは議事に入ります。議題1の「平成28年度下半期事業報告」の説明を、事務局に求めます。

事務局（稲葉）：【別紙資料1・2から順番に説明。】

委員長：事務局からの説明に対してなにかご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

委員長：無いようでしたら、議題2の「平成29年度事業計画」について、事務局に説明を求めます。

事務局（稲葉）：【別紙資料14・15を説明。】

今年度から、月1回月曜休館日に全員出勤日を設け、博物館の内外の普段手が届かない部分の整理整頓・環境整備を行ないます。図書館には月末休館日があつて、最後の金曜日に環境整備を実施する体制がとられ

ていますが、博物館ではそういう体制が一般的ではないことから、月曜休館日にあてたものです。

委員長：事務局からの説明がありましたがお質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

入館者・利用者数は昔 2 万人の壁があり、2 万 5 千人くらい入ると全国でも 1/4 くらいのトップクラスの入館者になるといわれていました。

廣部委員：企画展によって入館数が違いますが特徴・傾向はありますか？

事務局(稲葉)：江戸時代とか、みなとまち木更津などは人気があります。それから土日の天気。27 年度の上半期は土日の天気が悪く、君津地方全体で入館者が落ちています。あとは駐車場のキャパも関係しています。人気のある企画展を開催しても、駐車場がいっぱいで駐車できなかったというお小言をいただいたことがあります。平均的には都合よく来ていただけないので、入館して 1~2 時間くらい見学されますのですぐ満車となってしまいます。そういうところで入館者の伸び悩みもあるのかなと考えております。

荻野委員：駐車場の件、難しい問題とおもいます。山ですしね。旧保存館を駐車場にとも思っただけれど、斜面で難しいようですね。駐車場の問題は大きいと思います。魅力ある企画点も必要だけれども、企画展以外にハードの部分で博物館に来やすい環境づくりが必要かもしれない。隣のビューホテルは経営者が代わったら、駐車場の増設を行っています。博物館がこの地で営業し続けるのであれば、駐車場の問題は前向きに検討していくべきかと思われれます。

委員長：今の博物館建設は駐車場がかならず設計段階ではいりますが、千葉県で実験的要素もあってつくられた、この博物館がつけられたころには駐車場確保の発想はなかったようですね。ふるい博物館は今、皆、駐車場で困っている。これからどうやっていくかは、ここだけでなくパイオニア的な博物館のおおきな命題ですね。

全国的にも人口減が進むわけだし、まわりと連携していくしかないかもしれないですね。

委員長：ほかにございますか？無いようでしたら、議題 3 の「図書館協議会委員の候補者推薦について」について、事務局に説明を求めます。

事務局(稲葉)：現在、荻野委員が図書館協議委員になっていただいておりますが、今年度任期満了になりますので、次の委員の推薦の要望を受けております。よろしく願いいたします。

委員長：事務局からの説明がありましたがいかがとりはからいましょうか。

圓谷委員：委員長一任。

委員長：それでは、引き続き荻野委員をお願いいたしたいと思いますがいかがでしょうか。

(異議なし)

荻野委員：皆さんに異議がないようでしたら、引き続き続けさせていただきます。

委員長： それでは、引き続き荻野委員にお願いいたします。推薦書については、事務局で作成をお願いいたします。

委員長： それでは、次の「その他」について、事務局いかがですか。

事務局（文化課長）： それでは、「国宝化推進事業について」ご説明させていただきます。

オーガニックな街づくり推進事業のなかにも位置づけております。

重文「金鈴塚出土品」については重要文化財としての再指定をするべく博物館で事業展開をしているところでございます。

そのなかで、国宝化も念頭に入れての事業ですが、市民が、愛着を持って金鈴塚を再認識していただけるように郷土史講座等で取り上げてもらえるような事業展開をしたい。小中学校でつかえるAV資料や、あわせて、誰が見てもわかりやすいパンフレットの作成を実施したいと思います。

荻野委員： 4月に博物館でお花見をの来館者はいかがでしたか？

事務局（稲葉）： 天候も悪く、桜も咲いていませんでしたので来館者は少なかったですが、桜の開花時期が長かったので、公園にはかなりの来園者がありました。

文化財という貴重なものがあり、入ってもらえれば、興味を持ってもらえると思うので、博物館の入口まで来てもらえる柔軟な企画を立てられるといいなと思います。そういう意味ではお花見の企画は良いと思います。

委員長： 金鈴塚の再整理等については、国には行かずとも、県の文化財課には、頻繁に相談したほうが良いと思います。

それでは質疑が終了したようですので、これにて本日の議題は終了といたします。ありがとうございました。

事務局（松本）： 本日、委員の皆様には、ご多忙のところ、ご出席いただきまして、誠にありがとうございました。

今後とも当館の博物館運営業務につきまして、よろしくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

これをもちまして、平成29年度第1回木更津市郷土博物館 金のすず協議会を閉会いたします。

平成29年5月16日

議事録署名人

中村 哲